

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援プラザふらっぷ3号館 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日		～ 2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 23日		～ 2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、スタッフの意向を踏まえた個別支援計画策定と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けて、スタッフ間でお子様の発達状況を確認している。 ・保護者と面談を行い、お子様の家庭での様子や支援環境、ニーズの確認を行い、計画書に盛り込むようにしている。 ・3カ月毎にスタッフ間でモニタリングを行い、支援内容や目標の見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントにおいて、お子様の発達状況を客観的に評価する方法を導入する。
2	お子様の状態について保護者との共通理解を図ること、ご家族の相談への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や面談の際に、事業所での様子を伝えるだけでなく、ご家庭での様子も伺い、対応策などを一緒に考え伝えている。 また、必要に応じて小児科Drやリハビリ、栄養科等に情報を伝え、アドバイスを頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子等が保護者により伝わりやすくなるような手立てを考え実行する。
3	チームで話し合いのもと、業務改善・支援の見直し等を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングにて、利用児の支援内容や注意点等を確認し合い、その内容をホワイトボードに記している。 ・夕方のミーティングにて、当日の振り返りを行い、改善が必要な点等を話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードの内容を整理し、支援内容等を分かりやすくなるよう検討する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の園や子どもとのつながりを持つためのシステムができていない。 ・感染防止として、交流に対して積極的な要望が今の所聞かれていない。また、施設の感染防止対策として、地域の人を施設に招けない状況にある。 ・様々な専門職がいるため、センターからのスーパーバイズよりも自分たちで対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子もたちとつながりを持つためのシステム作りを行う。また、地域の子も達と触れ合うことが子どもの発達を促進することの実験ができるよう支援する。 ・地域の方が施設に足を運んでもらえるような機会を作る。 ・自分たちの支援をセンター等の第三者の方から評価して頂く機会を作り、他の視点も取り入れるようにしていく。
2	子どもにとって分かりやすく安全な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが活動する部屋が1室のみとなっており、仕切りを置く等部屋の中を分けようとする、バギー等が通りにくくなる、仕切りが倒れた際に横になっているお子様が怪我をする可能性がある等、難しさがある。 ・利用しているお子さんそれぞれの成長に伴った他事業所への移行ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有スペース（ホール）等を活用し、部屋を分けて活動を行う等、安全な環境作りを工夫する。 ・他事業所への移行について再度話し合いを行い、移行の流れ、医療的ケアのフォローの体制等を作っていく。
3	保護者に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の観点から、保護者交流会を持っていなかった。 ・今年度行った保護者向けの交流会や講演会の内容が、保護者の方が聞いてみたい内容と合致していなかった。 ・仕事をしている保護者にとって、利用時間が短い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業所だけの保護者交流会を行い始め、今後も定期的に行っていく。 ・保護者の方にとって、必要な情報が得られることで、参加意欲に繋がっていくのではないかと考えている。 ・延長等、利用時間等の再検討を行っていく。